



謹 賀 新 年

●主な活動の記録 (10月～12月)

10月4日(水) 自主活動 奈良阪

7日(土) 開催のイベントに向けて、会場整備のため草刈りを5名で実施。現場は一年ぶりにて、草や竹が伸び放題。区分分担を決め草刈り器で刈り取って行き、予定の昼前に作業を終了。秋の味覚であるクリ(大分荒らされていたが)・カキ・綺麗に色づいたアケビに加え、ツルを木に絡ませてぶら下がっているナンキンまでもが見つかった。

10月7日(土) 森林作業体験 元明天皇陵西隣 奈良阪

恒例となった奈良市地球温暖化対策協議会と当クラブの共催による”里山の森林整備と森の恵みを楽しむ会”、一時強い雨の予報もあり開催が危ぶまれたが決行。一般参加の9家族20名により予定通りに進行。イベントの趣旨説明後、各自ヘルメット・竹ノコを着用し作業地へ。当クラブの簡単な活動紹介・作業地の特性・竹の性質・作業要領・注意点等の説明を受け、班別にクラブのリーダーの先導で竹林に分け入り竹の除伐作業。この間、バームクーヘン用や午後のクラフト用に切った竹をイベント会場の駐車場へ。次にバームクーヘンづくり体験として、材料を混ぜ合わせ、握ねてから炭火の上で竹を回しながら焼き始め、後は事務局に任せてクリ拾いへ。今年のクリの出来は今一つながら、竹串でイガを開き次々と拾い集めた。偶に立派なのを見つけて歓声が上がっていた。これを駐車場へ持ち帰り、早速大鍋で茹で上げた。昼食後、自然の甘さのクリと砂糖の利いたバームクーヘンを味わい、甘さ対決。午後一番にエコの和メンバーの吉田さんによる環境教育一生ごみの削減としての段ボールコンポストの活用。プログラム最後のイベント、竹のクラフト。今回は趣向を変えてけん玉づくり。作り方の説明を聞き、解説図を見ながら、切ったり、割ったり、削ったりし最後に穴をあけ紐でつなぎ出来上がり。早速遊び始めたが最初上手くはまらなかったが、コツを掴むと次々に成功。盛りだくさんの内容、参加者一同大いに楽しんだ模様にて、全員が又参加したいとのこと。主催者側としては嬉しい限り。



森の話



竹伐り作業



バームクーヘン作り



クリ拾い



く焼き上がりました



コンポストの話



けん玉づくり



けん玉遊び

10月14日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

午前中、参加者15名全員で「緑の募金」公募事業”憩いの場としての健全な森林づくり”事業の作業現場であるモミジ谷へ。男性は各リーダーのもと3班に分かれヒノキの間伐。合間にこの日の研修課題であるチルホルの取り扱いにつき実習。直径20数cmの高木を、狭い樹間をぬっての伐倒。予定通りの方向に上手く倒せることが出来た。他の班では、簡易チルを使い引き倒しを実施。この間、女性は前回間伐した材を遊歩道まで引っ張り出して、後日シイタケ銀行の柵の付け替えに利用すべく皮むき作業。うち一人はチェーンソーを持って男性に混じって、雑木の除伐。昼食後、雨が降り始めたので午後の作業は中止し、子ども交流館に戻り、チェーンソーの掃除と目立てを行い次回の作業に備えた。



除 伐



チルホール



皮むき



チェーンソーの手入れ

10月28日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

台風接近の雨の中、12名が参加。雨の様子見の間、子ども交流館前芝生でミミズを取るため、猪が掘り返した後が、広範囲に荒れており、これの修復を鍬・カケヤで整地。最後にナラ枯れの大径木の玉切りしたものを運び込み、ローラ代わりに使って転がし地固めをした。

道具の手入れ等をしているうちに、雨も止んだ故、予定していた駐車場周辺のカイズカイブキの垣根の剪定を実施。チェーンソーや剪定ばさみで、高さを揃えて刈りこんだ。切り取った枝葉は軽トラ荷台に山盛り一杯となった。

昼食時、朝から女性4名で準備してもらった豚汁とおにぎりを美味しく頂いた。参加者がいつもより少なかったため、お代わり自由で皆はお腹が一杯。午後、炭窯前の傾いた建屋を直すべく準備しかかったところで、再び雨がきつくなり、作業を断念。早めの解散となった。



整 地



剪 定 作 業



10月28日(土) 「森の学校」 クラフト指導 檀原文化会館前

今年も、定例活動と同じこの日、“エコライフかしはら”が主催する「エコフェスタ 2017 in まほろば」が開催され、県中部農林振興事務所が出展する「森の学校(市民等を対象とするクラフト体験)」の指導に当クラブ員4名が参加した。朝から霧のような小雨が降ったり止んだりする中、入場者は各ブースを回った。今回のクラフトは、①竹の輪切りと木の実を使った鳥・カタツムリなどの置き物づくり、②松ぼっくりと木の実を使った動物の置き物づくり、③竹笛づくり。松ぼっくりの動物は、中高年の女性に人気があり、竹の輪切りでの鳥・カタツムリは子供達がよく作っていた。午後になると、時々雨足が強くなることもあり、予定の4時終了を繰り上げ2時20分頃終了。後片付けの後解散した。当ブースを訪れた親子連れは

61名とのこと。昨年と同様、県OB川口氏に一日中お手伝い頂き大助かり。



作成中



作品を手に

11月11日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

明け方の雨も止んだやや肌寒い朝、16名が参加。内一名はベテランながら帰り新参。午前中、全員で「緑の募金」ふるさと森林再生事業である、モミジ谷での森林整備。まず本事業の趣旨並びにスポンサー企業名を明示した立てたばかりの看板の前で全員の記念写真を撮ってから作業開始。今回は遊歩道沿いの沢の兩岸周辺の雑木の除伐、前回の作業で放置した掛かり木の処理、沢に落ち込んだ木々の引上げ等と、女性は皮むきを実施。午後、秋の収穫（カキ）のため、野鳥の森へ半分が移動。残り半分は午前が続いての除伐作業を一時間強行った。遊歩道から間伐が進む山手側を望むと、陽と風がよく通り、スッキリと感じられた。今年のカキ（渋柿）の実り・色づきも良く大量の収穫。皆で分けて大きな袋を一杯にし、重い重いと言いながらそれぞれ持ち帰った。終了後の定例理事会で、

- ・12月9日(土) 開催予定の総会の手はず並びに新規理事候補の検討
- ・11月25日(土) 日月夫人(故日月理事の奥様)よりの寄付金を引き当てての植樹(永遠の森の補植)手順を打合せ。この日参加予定のリコージャパン社員15名も加わってもらうこととした。
- ・12月23日(土) 納めの会「山の感謝祭」"餅つき大会"にリトルファンファン幼稚園に参加を呼び掛けることとした。
- ・理事の業務分担の再チェック等



看板と共に



架かり木処理



除伐



皮むき

11月25日 定例活動 矢田山遊びの森

秋晴れの爽やかな朝、クラブ員16名に加え、毎年会社ぐるみで参加頂いているリコージャパン社員17名、並びに日月家親子三代5名が参集。20周年記念で植樹した頂上展望台"永遠の森"へハイキング。この日は、日月夫人(故日月元理事の奥様)より頂いた寄付金で購入したミツバツツジ40本を同地で補植。まず直径1m強の穴八か所を掘り、そこに苗木をそれぞれ5本ずつを固め植え。周りをしっかり踏み込んで水鉢を作り、予め設置しておいたドラム缶二本に貯め込んだ雨水をバケツで汲み出し、植えたばかりの木々に散水し作業を終了。この後永遠の森の由來說明と寄付者である日月家の皆さんを紹介。小学生のお孫さんから、本日の活動に参加して、「空気が綺麗で気持ち良かった」との感想を披露。この日午前中だけの参加となるリコージャパンの皆さんがまず下山。次いで日月家の家族。午後活動のあるクラブ員は、昼食を済ましてから頂上展望台を後にし、来月奈良北高校でのクラフト材

料用に竹切りをして解散。



リコージャパンの皆様



日月家の人々



植栽作業風景



水遣り

12月8日(土) 定例活動 総会 矢田山遊びの森

真冬の様な非常に寒い朝ながら、17名が参加。朝礼で、前回より参加の山本さんが新入会の挨拶。以前からの参加の2名と共にマウンテンバイククラブのメンバー。3人揃って何れもガタイのしっかりした若手(?)だけに今後の活躍を大いに期待したい。午前中、男性13名は緑の募金事業、モミジ谷の整備の一環として既に伐倒したヒノキ材の搬出研修を行った。簡易ウインチ”引っ張りだこ”を使って4m程に玉切りした材1~2本をワイヤー架けして、車道近くまで引っ張り出した。機械の取り扱いは山本監査役の指導の下、時に体験希望者もハンドルを握って操作を学んだ。ある程度の搬出の目途がついてからは、数班に分かれ間伐・除伐を昼まで行った。この間、女性4名は次回納会の餅つきの準備のとして器具の準備点検を料理体験館で実施。

午後一番、子ども交流館の情報館内で定例総会。委任状を含め定足数の充足を確認し開始。冒頭11月21日急逝された東條理事の冥福を祈り全員で黙祷後、欠席の理事長に代わり筆頭理事岡本が挨拶。28年度は設立20周年の節目にあたり、記念事業”永遠の森づくり”記念植樹祭は、一般を含む80名を超える参加を得て成功裏に出来、また記念誌”20年の歩み”も発行。これも偏に会員皆の協力の賜物。新年度も引続きより一層の協力を要請。議長に奥村理事、議事録署名人に八木・会津両氏を選出し議事に入った。

- ・28年度事業報告、決算 監査報告
- ・29年度事業計画、予算説明
- ・定款変更—NPO 法改正に伴う貸借対照表の公告方法
- ・役員改選—新任：海老澤千津子、小松秀雄、辰巳芳利、奥恵一郎
再任：鈴木、岡本、平武、奥村

以上いずれの議案も拍手多数で承認し、終了。

総会后、16日の奈良北高校で実施の森林作業体験とクラフト指導のための資材器具の準備を行い解散。



取扱い説明



搬出作業風景



総会

12月8日(土) “どんぐり”を奈良公園の鹿へ

矢田山遊びの森を訪れる子供達に呼び掛け、拾い集めてもらったどんぐりが箱一杯になったので、今年も奈良の鹿愛護会へ持ち込みました(30kg程)。どんぐりは奈良公園飛火野での冬の風物詩”鹿寄せ”一鹿がホルンの音を合図に一斉に集る一彼らの大好物です。

12月13日(水) 環境出前講座 三碓放課後子ども教室

クラブの活動・スタッフ紹介に続いて、クラフト指導。今回は児童1～6年まで95名と非常に多く、かつ時間は1時間と限られた条件での指導故、当クラブ員7名と先生並びにコーディネーター合わせ9名がフル回転。予めテーマを「木・竹を使った置物」づくりとする。作品のイメージづくりと、材料選びをスムーズに出来るよう、材料置場も木・竹別の場所に、飾り物のどんぐりや木の実も一ヶ所に、見本は見やすい正面に置いた。8人毎の12グループが順次材料を選んで作業に入った。リョーブの輪切りでクマの顔を作ってペンダントに仕上げたり、どんぐりを動物の手足に使う子、目に動眼を使う子、マーカーで顔を描く子など様々で、騒々しい中アット言う間に終了。子供達は大いに楽しんだ。



見本



作成風景



自慢の作品

12月16日(土) 森林作業体験・森林環境講座・クラフト 奈良北高校

平成14年から続いているこの行事、本年は2年生45名と教職員・保護者15名が参加。クラブ員9名で指導にあたった。生徒を5班に分け、スケジュール表、ヘルメット、木挽きノコを配り、クラブ理事の奥村が開講の挨拶。ついで寺道スタッフによる「間伐とはなにか、なぜ必要か」の説明をし、班毎にロープ・挙げ竿・クサビ等を持って各班グラウンド周辺の作業場所へ移動。予め選木した木の周りで、間伐の手順・注意点を説明。どの方向に倒せばよいか生徒に問いかけて決める。その方向に竿を使ってロープを張り、受け口の切込みを入れ、方向・水平性をチェックしたのち追い口の切込みを入れ、ツルを残して決めた方向に見事倒すことが出来た(全員拍手)。間伐した木は、枝払いと玉切り。

次いで場所を弓道場横の駐車場に移動、クラフト「ミニ門松」づくりを体験。予め準備しておいた材料、竹・マツ・ウメ・ナンテン・モチノキ・ピラカンサの小枝を使って作り方の手順を説明後、各自作業に入った。台座用の竹と飾り用の竹3本のバランスに気を使っているようだった。独自の発想を入れたものも出来、仲間同士で褒め合っていた。



間伐作業風景



ミニ門松作り



ユニークな作品

12月23日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

本年最後の定例活動を好天で迎えることが出来た。午前中は一年間安全に活動出来たことに感謝する「餅つき」「ミニ門松づくり」を、午後は炭焼き窯周囲の整理・清掃を行った。

本日の会員参加は14名と少なかったが、「森の学校・あひる組」の13家族20名ほどの参加もあり、賑やかに年越しの行事が出来た。料理体験館の予約が遅れ困っていたが、森の学校のご厚意でスペースを分けて頂き、餅つきにも子供さんを交えて楽しいイベントとなった。

餅つきは、女性の皆さんの周到な準備・指揮のもと、3歳から90歳まで幅広い搗き手が、5臼の餅を搗きあげ、きな粉餅、しょうゆ餅などや澄まし汁で賞味した。今年も奥理事より、古代米(黒米)一臼分と甘いミカンの差し入れを頂いた。感謝!

午後、炭焼き窯周囲の整理・清掃を行い、山の神様に心ばかりの感謝のお供えをし、奥村理事の”締め挨拶”で活動を終えた。



餅つき



——ミニ門松づくり風景——

＝訃 報＝

東條幹夫理事、11月21日くも膜下出血で急逝されました。
(享年79歳) 機器・用具類の管理並びにクラフト材料づくり
をこまめにお世話頂き、日々の活動がスムーズに行くよう支えて
頂きました。ご冥福をお祈りいたします。